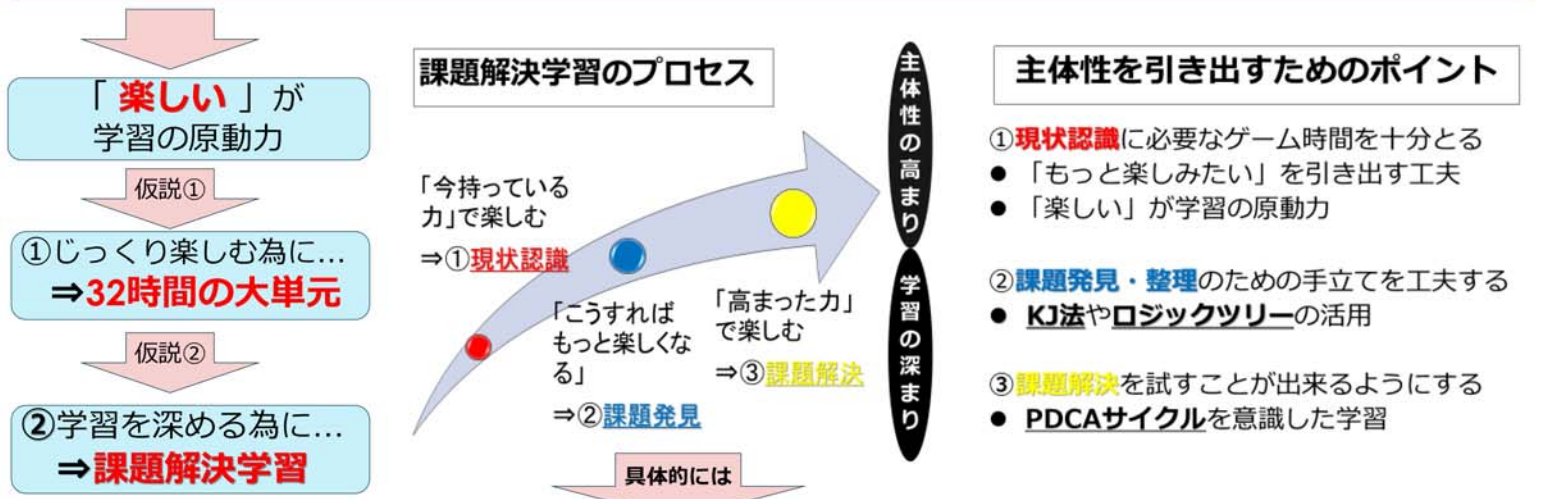


主体性を引き出す体育学習

～KJ法やロジックツリーを活用したサッカーの戦術学習～

体育学習において、生徒の**主体性を引き出す**ためにはどうすればいいか？！！



学習の工夫1

KJ法による現状認識と課題発見

- 1 チームの課題を付箋に書く
- 2 付箋を模造紙に貼る
- 3 課題をグルーピングする
- 4 グルーピングに見出し
- 5 グループ間の関連を記述
- 6 チームの課題を文章化

KJ法で課題整理をする様子

学習の工夫2

ロジックツリーによる解決方法の導出

- 1 チームの課題を3つ選ぶ
- 2 チームで分担 個々でロジックツリー
- 3 同じ課題を分析した者とフラッシュアップさせる
- 4 出来上がった3つのロジックツリーを共有
- 5 練習方法やチーム戦略をまとめる

生徒の記入例

別名「なぜなぜ分析」

学習の工夫3

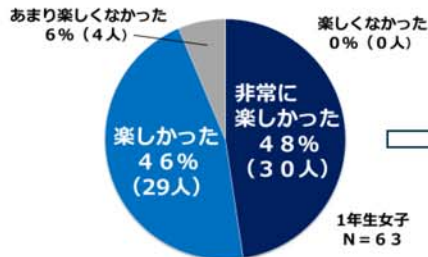
PDCAサイクルの手立て

— より丁寧に分析するための役割分担 —

- ①**ポジションリーダー** (DF/MF/FW 1名ずつ)
⇒ゲームを振り返った主観的な分析
- ②**データアナリスト** (2～3名)
⇒動画データをもとにした客観的な分析
- ③**プラクティスプランナー** (2～3名)
⇒①②の分析結果をもとに練習を考える

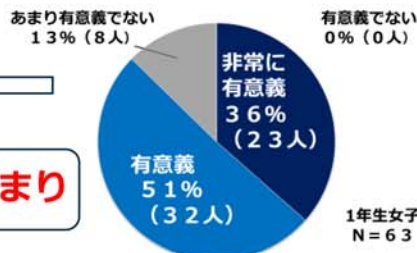
反転学習により 全員で役割分担

【アンケート結果】
「サッカーの授業（全32時間）が**楽しかったか**？



楽しい ⇒ **主体的な活動**

【アンケート結果】
「**KJ法**や**ロジックツリー**はチームの課題解決に**有意義だったか**？」



有意義 ⇒ **学習の深まり**

結論

生徒の**楽しい**を引き出すために

- ① 学習に**たっぷり**と**時間**をかける
- ② 課題整理・解決方法導出のための**手立て**を**丁寧**に行う

主体性の高まり

学習の深まり

今後の展望

- ① KJ法やロジックツリーを、部活動や学校行事などの**他の活動へ活用**
- ② **SGH**の課題研究と体育学習を**往還**させ、学習をさらに深める